

# 令和3年度総合型選抜 環境・社会理工学院 B 出題の意図

## 問題 1

自然災害からの復興における”Build Back Better（より良い復興）”は、災害の発生後の復興段階において、次の災害発生に備えてより災害に対して強靱な地域づくりを行うという考え方である。自然災害リスクとその予測は、自然災害の種類、対象地域の自然、社会、経済環境の影響を受け、また災害リスク評価はステークホルダーによって異なる。

土木・環境工学を志す人には、防災・減災問題を多くの視点から把握・分析し、具体的な施策を提案・実行する能力が求められる。本問題では、自然災害の特徴、そのリスクを多くの視点でとらえ、防災・減災対策における Build Back Better について自分の見解を分かりやすく説明できる表現力と文章力を問うことを意図している。

## 問題 2

環境問題は地球温暖化、海面上昇、異常気象、各種汚染、生物多様性の減少などのように多様化、そして深刻化しつつある。よって、このような環境問題と向き合いながら国土や地域の整備を進めることが、これまで以上に重要となっている。本問題では環境基本法の理念を踏まえて、まず環境と社会基盤設備の多面的な関係を広い視野で整理するための素養を確認する。その上で、公共的な課題として人口減少社会における環境整備のあり方を記述させることで、各自の問題解決力および文章力を問うことを意図している。